

# 磐城時報

日五廿  
昭和十一年八月廿六日  
印刷所 磐城時報社  
発行所 磐城時報社  
印刷所 磐城時報社  
電話 磐城時報社  
部金貳錢 一月金貳拾錢  
廣告料一行十二字計五十錢  
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

## 平町代表の説明に 平窪村側納得す

### 合併問題について

#### きのふ平窪村で座談會

平町では屢報の如く明年四十余名が平窪村に出張小月の年度替りから市制を施すに於て平窪村代表四十行すべく市制調査會に於て余名と會見、酒井助役が平窪村に對し交渉中であつたに説明した上合併後の方面が平窪村は二、三名を除き大體合併の有利な事にして大體合併に賛意を表す村でも大體合併の有利な事に至つたけれども合併の自覺したるものらしく、更に趣旨及びその後の利害得失に第二次、第三次の會見について詳細を村民に知ら行つて圓滿裡に合併を實現しむる必要があると平町に努力する事になつた對し座談會の形式で兩町村向は平町では二十五日午後代表者の會見を申し込んで縣總務部長以下を招き平窪來たので二十四日午後二時村側からも代表者の出席を平町から酒井助役、井上、求めてマルトモホールに於て野崎、關内、坂本、萩原の座談會を開く事になつた市制調査委員部長並に委員

## 昨夜 平の火事

二十四日午後八時十分頃平町極道小路飲食店本田初吉方から發火、同家一棟を全焼、同八時三十分鐘火は原因は佛壇に吊しておいた提灯の火らしく、損害六百余圓、折柄七夕祭の見物人が多數出でたので一時は非常な混雑を呈した。

## 武富少將を迎へて 再び軍事講演會

四倉鶏鳴會軍人分會、青年團主催にて過般海軍少將武富閣下を迎ひて非常時に關する講演會を四倉座に開くが、鶏鳴會、軍人分會、青年團、消防組、町役場、磐城セメント四倉工業所等聯合主催で来る九月五日午後六時より四倉座に再び武富少將の講演會を開催する筈で、演題は「何故日本海軍は強いか」について四時間余に亘る講演がある筈で盛會を豫想される。

## 水産課長 平商工會視察

縣水産商工課長竹内誠氏は本日來平し平商工會事業を視察した。

## 伊藤知事を迎え 濱三郡町村長會

### 第三小學校に開催

濱三郡町村長會議は二十五日午後三時散會した日午前九時から平町第三小學校講堂に開催、伊藤知事、出石總務部長、遠林庶務課平署では二十五日午前九時長以下臨席、過般の長官會から管内炭礦業者並に電氣山兩炭礦で同様講演がある筈である。

## 防空演習協議

濱三郡町村長會議は二十五日午後三時散會した日午前九時から平町第三小學校講堂に開催、伊藤知事、出石總務部長、遠林庶務課平署では二十五日午前九時長以下臨席、過般の長官會から管内炭礦業者並に電氣山兩炭礦で同様講演がある筈である。

## 桑皮購入

昭和十一年八月廿六日  
昭和人絹會社では人造絹糸原料パルプとして桑の剥皮の使用の研究を續けてゐたが、今回やうやく成功し特許權を得たのでいよいよ養蠶地方よりその大量購入に着手したが、二十四日縣蠶糸課に宛て購入についての斜旋十圓なので不審を抱き取調に來た無軌道娘と判り實家ヤンガラ念佛の一家が平町に引取方を通知したが、平署と協力後關係を取調べ中である。

## 酌婦志願の娘

### 實家に引取方通知

赤井村大字赤井字西小川大の鉦大鼓の音が忍び寄る。澤清喜次女とし子(十八)は秋風に乗つて街へ訪れて來た。二十四日中村町荒井町飲食店、名物ジャンガラは石城店下浦カメヨ方酌婦としての産んだ、一代の名僧祐天中村署に許可願を提出した上人が地方民に授けたいは、田口署長が前借僅か二、三圓なので不審を抱き取調に來た無軌道娘と判り實家ヤンガラ念佛の一家が平町に引取方を通知したが、平署と協力後關係を取調べ中である。

## 防空映畫會

役場在軍分會主催で四倉町役場並に在郷軍人四倉分會では防空思想普及の爲來る二十八日午後三時と午後七時の二回に亘り四倉座に活動寫眞を開催するが、上演映畫は

## 大鼓の音も勇ましく 念佛踊の稽古

二十二日から三日間開催の七夕祭も天候に恵むることになるので、早くも今年には稲は豊作疑ひなしと近所の若人達の間に名物あり、炭礦はインフレに踊り、濱は豊漁に酔つて出る

御中元の御贈答に  
商品券  
御利用下りませ  
ふかや洋服店 平電 203

## 伊藤知事 工事視察

濱三郡町村長會議列席のた日午前七時五十三分平着列車で來平した伊藤知事は小田橋架替工事及び夏井川新川改修工事を視察した。

## 夏期講習會

石城教育會の夏期講習會は愈々本二十五日より三日間毎日午前九時から平第一校講堂に開かれるが、講師は著書及びラジオ放送その他で知られた教育實際家奈良女子高等師範學校訓導清原水甚吾氏で、日本の及び郷土的學級經營の實際を題する講演あり、郡下約五百名の小學教員が受講、夏期講習物の掉尾を飾り盛會を豫想されてゐる。

## 鹿島村の 更生盆踊

鹿島村男女青年團並に在郷軍人分會、消防組主催の更生盆踊大會は廿三日午後六時より小學校庭で催されたが、維新當時の無名戦死者及び無縁佛の慰靈祭も同時に執行したので村一總出で夜半まで非常な賑ひを呈した。尙當夜の盆踊歌詞の如く

平和に踊り出す 小野敏雄、▽孫の守りて佛にかへ橋音頭若がへる 齋藤信義、▽三等踊れ踊り下で一團融合で踊ります 鈴木清、▽お前何處へ行く平が小名かわたしや鹿島へ盆踊 黒木英泰、▽鹿島よいこ我等の郷土近き未來は理想郷、(以下歌詞略) 想郷、▽大瀧忠男、小野敏雄、高萩忠義、▽五等鈴木千代美、森谷都廣、三島俊峰、▽佳作田山重大郎、吉田清、森谷喜八、大瀧忠男、小野敏雄、佐藤久吉、北尾喜久枝、黒木英泰、佐藤久吉、長瀬一郎、草野道春。

御贈答洋品の御相談...  
常に優良品を取揃へ、お好み通り優美に調製いたします。  
中野洋品店 平二・電五三

▽一等更生盆がとりもつ縁で私しや鹿島に嫁に來た吉田フミ、▽二等唄ひ出したよ橋の上で村も

醸造石數四千石

昭和二年以來連續優等入賞



御披露中特價一四〇

平町四町

永山酒店

電話二〇七番

元造醸

郡山村西縣形山

郎三矩規樂設

### 御日燒の

御顔の御手當に就て

海水浴の御日燒け、残暑の御日燒け等は、御顔の「美」を一層傷つけるもので御座いますから、其の際には必ず御手當が必要で御座います。私共の化粧院は御日燒けには獨特のオンソソ理容法による御手當を致しまして皆様が御満足のいく限りの御化粧に努めてをります。海水浴の御歸り、或は残暑の御日燒けの御手當には是非水野化粧院迄御立寄下さいませ。昭和十一年八月

美容 平 前  
水野化粧院  
主 水 野 冬 子  
電話六七八番  
自宅 平町四町(水野商店)  
電話五二五番

### お新盆提灯に御注意!!!

近年各地に於て再製提灯が市場へ出るためお贈りの方も頂いた方も誠に御迷惑又失禮にもなりますので、製造者の間で相談の上今年の品物へは必ず昭和十一年製青色マツクを入れています。御買求めの際は必ず忘れなく昭和十一年製マツク入と御指命下さい。

昭和十一年八月 提灯同業組合

### 和洋銅鐵金物問屋



諸橋久太郎

電話九九番

外科 専門  
上田外科  
平町南町  
電話一二九番

三百年の歴史を有する  
家傳靈藥  
消食散  
一名かけの藥

代理店 平町大町丸龜商店  
電話一三三番

### 謝近火御見舞

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下奉深謝候一々拜趨御厚禮可申上答の處混雜中御尊名伺洩れも可有之乍略儀以紙上御挨拶申述候

平町搔搥小路

阿部政右工門

平町紺屋町

眞木恒

平町紺屋町

馬目雅治

平町搔搥小路

大角園茶舗

大角金藏

### 出火御見舞御禮

昨夜出火の際は早速御馳付消火に御盡力被下有難く御禮申上候一々拜趨御禮申上ぐべき處乍略儀以紙上御挨拶申上候

平町搔搥小路

本田初吉

### 御中元の贈答には

安心して贈れる「王星石鹼」

使つて後の爽やかさ...その芳香...その品質...その泡立...自他共に許す一流の高級品

化粧箱入 一打 一圓二十錢  
三打 一圓六十錢  
三打入 一圓三十錢

平町一丁目 濱三郡賣捌元 菅本飼料店  
電話五九六番

### 氷は會社!!!

量目正確 配達迅速

電話二三八・三一六

平製氷直賣部

小型花氷發賣



一本 五十錢  
五時間ハ 保チマス  
花臺一個 十錢

贈答用ニ好適ナ三本一圓三十錢【券ノ商品券御利用下サイ】

青光院新盆に相當り候處誠に勝手乍ら提灯其他供物等御贈與の儀御辭退申上度右不惡御了承願上候

青沼鋒太郎

亡兒政雄儀新盆に相當候處誠に乍勝手提灯其他供物等固く御辭退申上度謹告候也

平町三丁目

大谷久藏

隆徳院新盆に相當り候處提灯その他供物等御贈與一切御辭退申上度乍勝手以紙上御願申上候

平町紺屋町

加納邦武